

主体的に学習に向かうために！

家庭学習と授業の相互で目指す学習を自己調整する力の育成
～認知的方略の汎用的な活用を通して～

<学習を**自己調整**する

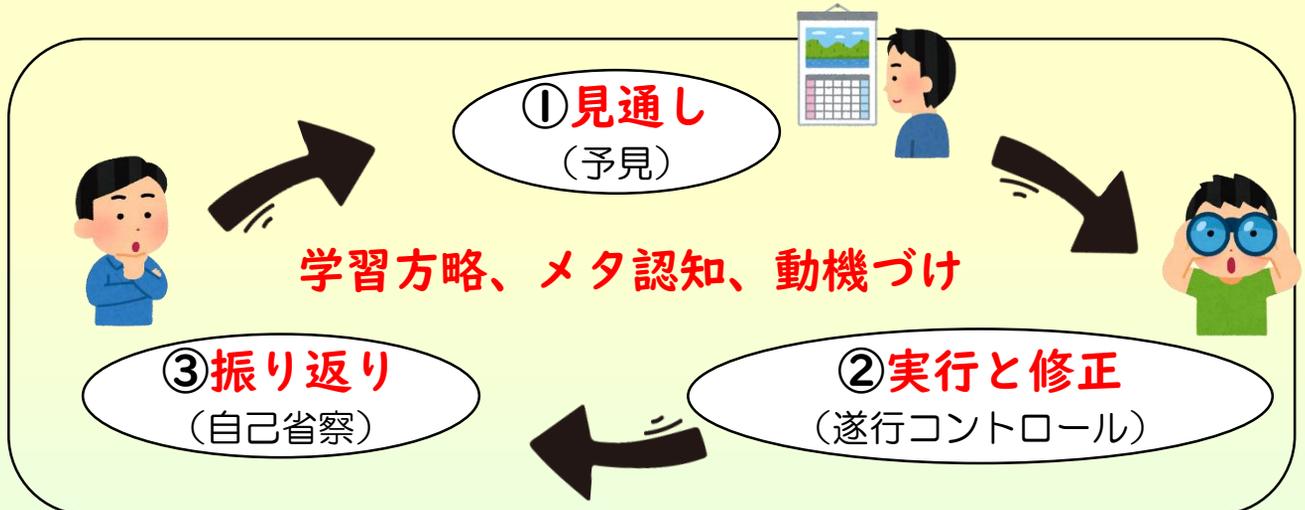
ための三つの要素と段階>



次の学習へ!



正しい**学習方略**の**自己選択**と**そのためにメタ認知を働かせる**ことが、**学習の成果を実感し、モチづけを高める**ことにつながる!



* 伊藤崇達 「自ら学ぶ力」を育てる方略 -自己調整学習の観点から- 2008年7月 を参考に筆者により作成

- ① **見通し**：学習の見通しや目標の設定、学習の順序や内容、方略の計画を行う
- ② **実行と修正**：実際に進めている学習をモニタリングし調整する
- ③ **振り返り**：目標達成についての自己評価と原因の考察を行う

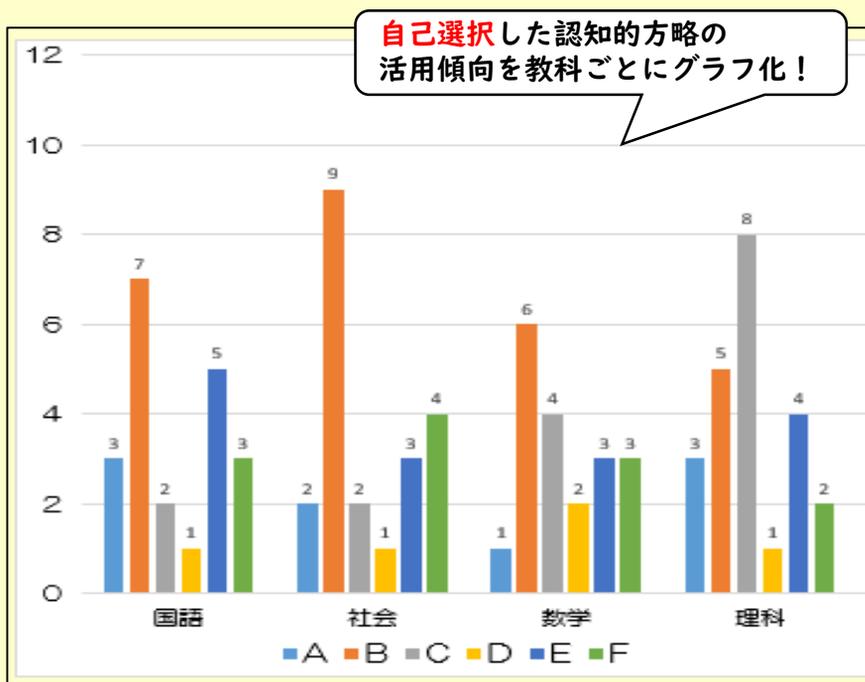


学びを**自己調整する力**とは自らの学習過程を**客観的に捉え**、うまくいかなかったところはどこか、どのようにすれば次には**改善**できるのかを**振り返り**、**自らの学びをコントロールする力** (一部、筆者により編集)

<認知的方略を自己選択し、振り返る>

@家庭学習の場面で

生徒は進めてきた日々の学習計画や学習した記録をSMSに入力し、蓄積した学習履歴を分析しながら学習を自己調整していく。



時間配分のバランスがいいですね。英語は予定よりもかなり少なめなので、次週で調整しましょう!

科目	計画	実際	差
週間学習時間	25	21	3.5
国語	4	3	
社会	4	5	
数学	1.5	2	
理科	2.5	2	
音楽	3	3	
美術	0.5	1	
保体	2	2.5	
技家	1.5	1	
英語	5.5	1.5	



自分で立てた計画を先生からのアドバイスで見直すことがあった!

SMSの共有



生徒のSMSをモニタリングしたところ、英語の学習時間が計画では5.5時間となっていたのに、実際は1.5時間しか勉強ができていなかったのが「来週で調整しよう!」と学習のアドバイスが指導者から送られている!

【生徒による今月の学び方の振り返り】

前回のテストの時よりも時間をかけて勉強することができた。

英語はわからない時こそ友だちに説明して身に付けていくこと。

社会や理科は何度も問題を解いて今まで勉強していたが、テスト前の短期間でたくさん問題を解くだけでは難しいと感じました。その日の授業を大切に集中して授業に取り組んでいきたいです。



生徒は指導者からのアドバイスを参考にしながら、自分で判断して学習を調整していく!

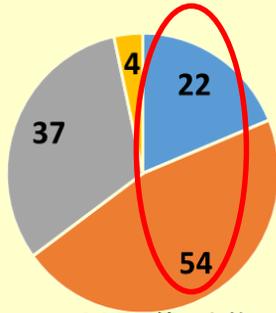
【指導者からのアドバイス】

バレーが一区切りして、勉強に使える時間が増えたようですね。

「わからない時こそ説明」という発想は前向きでいい方略だと思います。他教科でも意識して続けていきましょう。

<研究実践の成果>

適切な学習方略を選択することで
学習の成果をあげることができている



* n = 117 値 = 人数

- できている
- どちらかといえばできている
- あまりできていない
- できていない

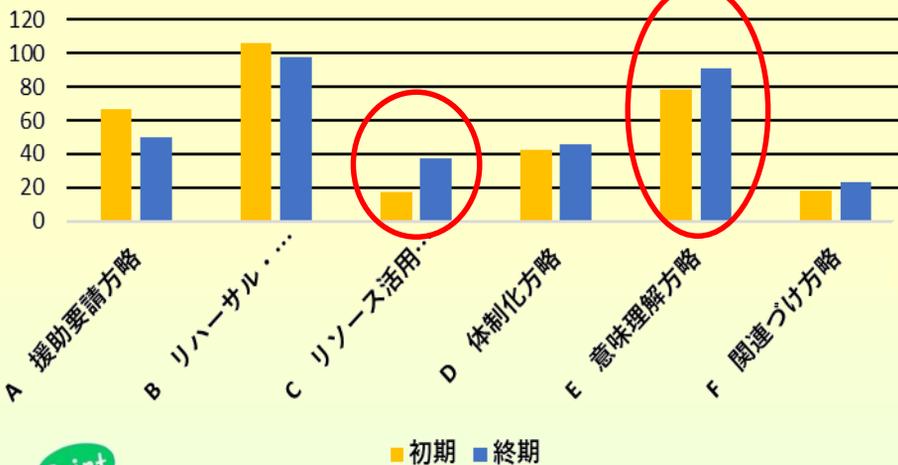
六つの学習の仕方をそもそも知らなかった。だから、家で勉強する時は暗記ばかりをしていた。
勉強の仕方を知って、使っていくうちに使えるようになっていた。



いろいろな学習方法（方略）を使えるようになって、
学んだことが深まった気がする。
テストでも良い点数が取れた。



家庭学習での学習方略の活用傾向を比較 初期(7月)と終期(11月)



@ 授業の場面での、

自己調整の経験
方略の有効性の実感



@ 家庭学習の場面へと、

汎用的に方略を活用
できるようになった!

Point

自覚的に学習を自己調整し、自己調整した経験を次の学習に生かしている!

発行 令和5年3月

発行元 京都市総合教育センター 研究課・カリキュラム開発支援センター
〒600-8023

京都市下京区河原町通仏光寺西入ル

TEL 075-371-2705

FAX 075-353-4851

詳しくはこちらから検索!



@ 授業の場面で



学習課題を解決するための**方略は自分たちで決めてください**。どの認知的方略を選択することが**自分の理解につながるか**、**学習課題の解決につながるか**を考えて取り組んでください。

生徒は認知的方略を**自己選択**したり、違う方略を選び直したりするという**自己調整**を行いながら、学習課題の解決に向かっていく。



タブレットで語句の意味を検索する生徒

グラフや表を活用して考える生徒

既習内容と関連付けて考える生徒

一人で考える生徒

友だちと協力して考える生徒

* 単純な計算問題や暗記したことを記述するだけの学習課題では認知的方略の自己選択に広がり生まれにくい。

【生徒の振り返り】



自己選択した認知的方略 E：意味理解方略

理由→1つ1つの文章の意味や、聞かれていることを確認して、**理解しながら解いていくことで整理できる**から。

効果→**分からないことがそのままにならないし、理解しやすい**。



生徒は振り返りを記述することで自己調整を**自覚**し「あの時の、あの方法がここでも使えそう！」と今後、**自己調整する力を汎用的に発揮**することができる！



指導者は、生徒が方略を自己選択した意図や方略の効果を実感している様子などを確認することができる。

STEP 1

認知的方略（学習方略）を
生徒に教示する！



生徒が学習方略を獲得し、
活用することを支援

自分自身の記憶や思考など認知的なプロセスを調整することで
効果的な学習を促す学習方略

- A 援助要請方略（人と協力する）
- B リハーサル・記憶方略（繰り返す）
- C リソース活用方略（図や表を活用）
- D 体制化方略（分類、まとまりをつくる）
- E 意味理解方略（解き方や意味理解）
- F 関連づけ方略（既習内容と関連づけ）



STEP 2

セルフマネジメントシート
(SMS) を活用する！



生徒が自身の学習の
進め方や成果を客観的に
把握することを支援

科目	4	5	6	7	8	9	10	11	12
主な予定	定期テストI	1日目 社会・英語	定期テストI	2日目 国語・数学・理科					
国語	漢字プリント	漢字プリント	国語しぼ	国語しぼ					
社会									
数学	計算練習	計算練習、応用問題							
理科	ノートの見直し	ノートの見直し、問題練習							
音楽									
体育									
家庭									
英語									
主な予定									
国語									
社会									
数学									

学習した時間

学習した内容

学習で活用した方略

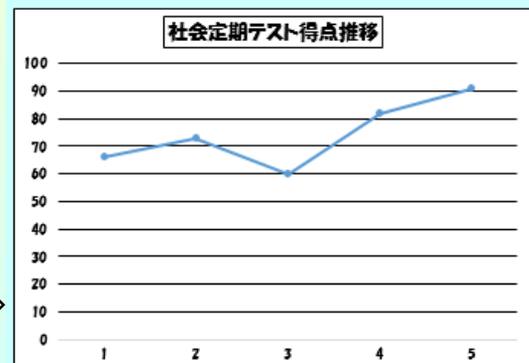
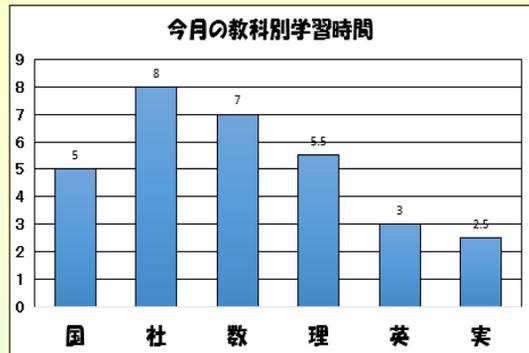
左側が 予定

右側が 実行

学習する内容

学習する時間

実行が計画と変わってもOK!



SMSに入力する学習情報

- ・学習する（した）時間
- ・学習する（した）内容
- ・自己選択した認知的方略
- ・テストの点数

教科ごとの学習時間、テストの得点や評価の観点別の得点率の推移、認知的方略の活用傾向が
グラフ化される。